

## 第2回 地域振興会議会長会議事概要

日 時：平成28年2月9日（火） 10時00分～12時08分  
場 所：市役所本庁舎6階全員協議会室

〔本庁関係〕 2名

深澤市長、田中企画推進部長

〔各地域振興会議〕 16名

会 長：森原会長(国府)、南部会長(福部)、竹田会長(河原)、谷村会長(用瀬)  
上田会長(佐治)、横田会長(気高)、田中会長(鹿野)、高橋会長(青谷)  
総合支所：安本国府支所長、宇山福部支所長、窪田河原支所長、砂場用瀬支所長  
小谷佐治支所長、鈴木気高支所長、徳岡鹿野支所長、国森青谷支所長

〔事務局〕 4名

地域振興監：久野地域振興監、増田課長補佐、竹森主事、小山主事

### ◎会議次第

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 報告事項
  - (1) 地域振興会議から提出された意見書について
    - ① 「鳥取市西部地域への企業誘致」に関する意見書
    - ② 「浜村温泉館の早期再開」に関する意見書
- 4 地域の課題及び進捗状況について
- 5 その他
- 6 閉 会

# 議 事 概 要

## 1 開 会 (10 : 00)

## 2 市長あいさつ (10 : 00)

## 3. 報告事項 (10 : 03)

### (1) 地域振興会議から提出された意見書について

○事務局の説明に関しての補足（「①鳥取市西部地域への企業誘致」に関する意見書について）

（横田気高会長）西部地域合同で意見書が提出できたことは、新たに地域振興会議となり合同で会議が開催できるようになった成果である。回答を受けている、今後の成果を期待する。

（田中鹿野会長）団地用地の確保が重要だと考えている。歴代の総合支所長の協力も得ながら用地に関する計画を立てており、地元でも機運が高まっているので、ぜひよろしくお願ひしたい。

## 4. 地域の課題及び進捗状況について

### 【各地域振興会議報告】(10 : 14~11 : 30)

#### ①青谷地域振興会議 高橋会長 (10 : 14~10 : 20)

○卓球のまちの復活

青谷地域では「卓球のまちの復活」というキーワードで頑張っている。平成27年8月に青谷高校の生徒とOBによる卓球教室を開催した。また、遠くは和歌山県など県内外の強豪中学校の招へいにより青谷オープンを開催し、良い大会であったとの評判だった。同時開催の講習会には300人以上の参加があった。

すぐに効果が出るとは思っていないが、中学校では3年ぶりに中国大会に男子生徒が出場したり、高校では全国選抜の県代表として女子生徒が選ばれたりしている。

○青谷高校の存続

鳥取県教育委員会からは高校の統廃合はしないとの答申であったが、来年度東部で1校の学級数が減となるということである。青谷高校は青谷地域にとって中核の学校である。地域にも親しまれており、市としても支援をしてほしい。

○人口減少

昭和30年頃から人口が半減し、市全体と比べると倍のスピードで減少している。振興会議の委員の中でも共通認識を持ち、行政とともに考えていきたい。

○中山間地域

山林等が荒廃しており、災害に直結するのではないかと危惧しているため、市に支援してほしい。

#### ②鹿野地域振興会議 田中会長 (10 : 21~10 : 32)

○空家活用の取り組み

いんしゅう鹿野まちづくり協議会が力を入れ、市の委託を受けながら移住定住を進めている。従来、貸主も借主も「家財道具の片付け」がネックになっていたが、2年ほど前から行政の支援が受けられ感謝している。長年の取り組みにより信用も増え、県外からもたくさんの相談を受けている。空家の管理には費用がかかるためにまちなかの空家対策とは別の中山間地域に合う一層の支援が必要である。

○耕作放棄地対策の取り組み

河内では果樹の里山協議会を立ち上げて、耕作放棄地対策に取り組んでおり、国の事業を活用して、果樹の里山をつくらうとしている。鳥大生や関西からの参加者にも手伝いに来てもらっており、交流人口を増やしながら、今後の方向性を決めていく。

○農業振興プラン

<蕎麦>

蕎麦は鹿野町の顔であるが、生産量が足りず、県外から買付けしなければいけない状況にある。(株)ふるさと鹿野で奨励金制度を設けているが、種の購入費が高額であることや天候で出来が左右されることもあり、支所にも支援していただいているが、今一つ伸びていない。蕎麦は鹿野町の特産品であることから、農家だけでの問題ではなく、まちづくりや観光面においても大切なものであり、今後どう取り組むのか考えていかなければいけない。蕎麦打ち体験料は開始当時から変わっていないという状況であり、値上げを含めた検討が必要。

#### <生姜>

どうブランド化するかという課題はあるが、気高の瑞穂生姜と日光生姜、鹿野の苴矩生姜を一つにして売り出してはどうか、などの意見がある。

#### ○鹿野中学校について

小中一貫校の要望を出し、答申を受けた。これから学校応援団を設立する準備を進めており、まちづくりに繋げていきたい。

#### ○とっとりカフェ

大阪と東京で「とっとりカフェ」を開催し、すげ笠弁当をPRした。今後は移住定住にもつなげていきたい。

### ③気高地域振興会議 横田会長 (10:33~39)

#### ○浜村温泉館に関する意見書

2月8日に市長との意見交換を行った。浜村温泉館は平成15年にオープンし、現在設備の不備や建物の老朽化が激しく、平成28年4月より休館して調査し、結果を見てあり方を検討していくという説明を受けた。浜村温泉の灯が消えることになるのではないかと危機感を覚え、意見書を提出した。また、先日4つの共同浴場(町内会員しか入浴できない)を持っている地域が集まって、今後どのように対応していくのか話し合われた。

#### ○遊漁センター

平成26年9月より休館していたが、南三晃(ぎんりんグループ)に指定管理者が決まり、平成28年4月から再開することとなりありがたい。

#### ○しょうがぼかぼかフェスタ

このイベントは恒例となっており、県外からの来客もあるので続けていきたい。

#### ○浜村映画塾

浜村映画塾の取り組みが浜村温泉湯けむり映画祭に繋がった。地元からも沢山参加されており、浜村温泉の活性化のためにも新たな観光資源にしたい。

#### ○地域振興会議の今後のあり方

課題についても足元を見つめてテーマを設けて、地元の応援団としてしっかり話し合っていこうという話をした。

### ④佐治地域振興会議 上田会長 (10:40~10:44)

#### ○過疎の先進地

子どもが減り、中学校は用瀬と統合し、小学生も減少している。五しの里ということで20年前より取り組んでいる。JAが梨の選果場を郡家と統合したことで、佐治の梨として出荷・販売できず困っている。また、高齢化により生産者が減り、生産量も減少している。

#### ○どぶろく特区について

2月10日付ですべてのどぶろくの許認可が取れることとなり、1月末に試作品ができ上がった。名称募集し、15の都道府県から38件ほどの応募があった。現在は容器やラベルの製作に取りかかっており、3月末までに販売準備をし、4月下旬のたんぼり荘春祭りでお披露目する予定。佐治の新たな特産品となることを期待している。

### ⑤用瀬地域振興会議 谷村会長 (10:45~50)

#### ○人口減・少子高齢化

人口は最盛期の半分となり、独居高齢者も120戸ほどあり、行政や社会的な団体とのつながりをどう維持するかが課題である。防災無線のデジタル化により、様々な地域情報の伝達が困難になるので、代替策を

考えてほしい。

○用瀬PAの活用

用瀬PAを活用した地域おこしに本気で取り組みたい。用瀬、佐治のまち協の会長会で話し合い、強力に取り組んでいきたい。物産販売や地域の情報発信のスペースを設けたい。現在の看板では地形と合わず、用瀬や佐治全体が分かるようなものが必要。地元として取り組めることは頑張るが、市の支援もお願いする。

○高齢者福祉

鳥取の大学による福祉アンケートの結果に基づいて昨年作成した福祉のまちづくり計画をもとに、今年は具体的な活動を進めている。30集落のほぼ全部にふれあいサロンの組織を設立し、こもりがちな独居高齢者の方に出てきてもらい、幸福感や安心感を覚えてもらう場として、赤波地域ではひまわりの家を設け自主的に運営している。

○用瀬アルプス

地域の目玉づくり、地域の宝の掘り起しとして、風光明媚な山を活用し、智頭町とも連携しながら地域の活性化に取り組む。

○農林業

農作物の販売高が10億から7千万に減少している。猪や鹿などが増え、山菜や木の皮が食べられてしまう。畑は柵で守れるが、何とか山も守らなければいけない。

**⑥河原地域振興会議 竹田会長 (10:51~11:03)**

○工業団地

工業団地ではイナテック、マルサンアイ、ササヤマの整備が進んでいる。これからもどんどん入ってほしい。

○可燃物処理場

10年かけてめどがつき、今後は具体的な計画に入っていく。

○人口減少

人口が減少し、空き家も増えている。UIターナーが増えるよう、我々も知恵を出しながら行政とともに取り組んでいこうと頑張っている。

○中央公民館

今後は幅広く使用できることとなったが、際限がなくならないように、具体的な最低限の基準が必要ではないか。職員も現在2、3人しかいないが、増員も必要だと考える。

○市営住宅

老朽化が進み、維持管理も困難となる現状もわかるが、現在の入居者が困らないように、入居者に配慮して進めてほしい。

○河原町総合支所の庁舎について

現在はワンフロアではないが、第2庁舎でワンフロア化すれば、市民も使いやすくなる。

○防災無線

やはり、地域情報が流せないのは不便であるため、有線放送のような形を取ってほしい。

○鳥獣被害

猟期のため11月~2月までは補助金が出ない。また、捕獲してもジビエの販売では消化しきれない。1年をとおして支援をしてほしい。

**⑦福部地域振興会議 南部会長 (11:04~11:13)**

○福部未来学園

4月より幼小中一貫校である福部未来学園がスタートする。特色ある学校づくりとして、みらい科の新設を申請している。校章や校歌などは決まった。施設面では幼小中の子どもたちがみんなで昼食をとれるような多目的ホールの整備を検討している。来年度から平成29年度まで増改築に取り組み、平成30年度に一体型の校舎ができるように町民は希望している。

○多鯨ヶ池の振興

鳥取砂丘に多くの観光客が来ており、特に砂の美術館が核となり、一時の減少から復活しつつある。砂丘のそばの多鯨ヶ池を活用しようと、地元の浜湯山の住民が「多鯨ヶ池活性化委員会」を結成しているが、観光スポットとして活用するには遊歩道、トイレなどの整備が必要になるため、ぜひ市で多鯨ヶ池周辺を整備

してほしい。

○駒馳山バイパス

地元住民にとって山湯山ICは使い勝手が悪く、岩美町までの間にもう1つICが必要と考えており、今の状況では駒馳山バイパスが地元住民にとって役立っていない。市からも国県への要望をしていただいているが、引き続きよろしく願う。

○塩見川の整備

現在工事が進んでおり、平成28年度末には塩見川と県道の改修が終了し、川の氾濫がほぼ解消されることとなるが、想定外の事態に備えて、さらに内水排除の設備を整えてほしい。

○人口減少

人口ビジョンや創生総合戦略にある「ひとづくり」「まちづくり」「しごとづくり」を具体的に早急に進めてほしい。

○防災無線

新市域が全て同じ状況だと思うのでぜひ対応願いたい。

**⑧国府地域振興会議 森原会長（11：14～11：30）**

○地域振興会議のあり方

国府町は地理的に細長く、旧鳥取市に近い地域と遠い地域では課題に対する思いが違う。前回の会長会で田中会長から「委員が地域課題を議題として出す」というのを聞き、国府もやり方を考えなければと考え、委員に課題の提出を依頼し、4つの議題が出された。「放課後児童クラブの小学校舎利用」と「旧総合支所の利活用」については説明のみで良い内容であったので説明を受けた。「文化・観光施設の有効活用」については観光協会との兼ね合いを見ながら、数百haある「山林の有効活用」についてはまだきちんとした議論を進めてはいないため、来年度より本格的に協議する。

**○その他**

○地域振興会議

（高橋青谷会長）振興会議の内容についてであるが、連絡決定事項が多く、本来論議したいことができないため、議題にする必要があるのか。

（森原国府会長）決められたことについても意見がでてしまうというのはある。発言される委員にも考えてもらわないといけない。

（南部福部会長）市長の諮問に答える組織でもあるため、やむをえない部分もある。また、市の方向性をいち早く知ることができる。

（竹田河原会長）諮問機関であるが、河原では河原の状況にあった意見を出している。できることは直していただき、地域に合った形にしてもらう。市の要望をきき、地域の状況を話す場だと考えている。

（横田気高会長）報告事項を知ることも必要である。

○防災無線

（森原国府会長）国府は防災無線については元々デジタル化している。国府を参考にしてはどうか。

（竹田河原会長）防災無線については、孫（子どもたち）が夕方のサイレンを合図に帰宅したりするので、必要でもある。

**【意見交換】（11：31～12：04）**

（深澤市長）この会議の設置目的は鳥取市の一体的な発展に資するためであり、報告もさせていただくが、様々にご議論いただきたい。より良き形に向けて、運営していただければありがたい。

<青谷>

- ・「卓球のまちの復活」に向けての取組は素晴らしいので、ぜひこれらも進めてほしい。
- ・「青谷高校の存続」については全県下の問題ではあるが、一緒に協力して対応していきたい。
- ・「人口減少」は国を挙げての課題であり、5年、10年といった短い期間では改善されないため、更に見つめたまちづくりを進めることが必要である。子育てしやすい環境づくりや雇用の創出など色々なことを総合的に取り組んでいかなければいけない。これからの大きな課題であるので、色々な施策を展開していきたい。

- ・「中山間地域」の活性化無くして本市の発展はない。とっとりふるさと元気塾において中山間地域のリーダー養成に取り組み、国の地方創生に先駆けて実施している。また、平成22年度より中山間地域対策強化方針を策定して見直しながら取り組んでいる。

#### <鹿野>

- ・「空き家活用の取り組み」について家財道具の片付けがネックになっているとのことであるが、これからも空き家を貸しやすく、借りやすくなるような方策を考えていきたい。この課題については何よりも地域の力が重要であるため、地域の皆さんの支援をいただきながら進めていきたい。
- ・「農業振興プラン」に関して、蕎麦の栽培面積が少ないことは議会でも議論となった。鹿野にとって観光やまちづくりにも大切な資源であると考えているので、一緒になって取り組んでいきたい。
- ・「鹿野中学校」については地元の意向をうかがいながら進みたい。
- ・東京・大阪での「とっとりカフェ」は素晴らしい取り組みであり、本市も東京・大阪で因幡・但馬の1市6町とともに移住定住のPR行うこととしている。大都市圏での鳥取市PRにどんどん取り組んでいきたい。

#### <気高>

- ・「浜村温泉館」については調査のための一時休館という形であり、廃止ありきではない。調査結果を踏まえてこれからのあり方を考える。歴史ある浜村温泉の活用や今後について一緒に考えていきたい。
- ・「遊漁センター」は4月より3年間運営してもらえるので、有効活用の方策について検討していきたい。
- ・「しょうがぼかぼかフェスタ」や「浜村温泉映画祭」が盛大に開催されたということで、これこそ地域の資源を活かした地方創生の取り組みであり、期待している。
- ・「地域振興会議の今後のあり方」は設置目的に合うような形でより良き運営方法になるように、ご検討いただきたい。

#### <佐治>

- ・「どぶろく特区」について、お披露目を楽しみにする多くの方もおり、新たな佐治の特産品として地域の活性化に生かしてほしい。
- ・「梨」については選果場の統合の関係で佐治の梨とアピールできていないとのことであるが、JAの統合も必要なことである。ブランドを今後どう出していくかは問題としてとらえている。民泊については大変人気があるため、現在のキャパシティを考えるとこれかもしっかりと進めていきたい。

#### <用瀬>

- ・「人口減・少子高齢化」に関係した防災無線については地域づくりでも要望を受けており、危機管理課だけでなく、庁内の関係部署で検討している。デジタル化については、緊急時に迅速な対応をするためにも整備が必要なのでご理解いただきたい。代替策については引き続き研究・検討する。
- ・「用瀬PAの活用」については協議会からも要望を受けており、国土交通省も前向きである。具体的に進めていけるように検討していきたい。
- ・「高齢者福祉」について、ひまわりの家についての紹介を受けた。まさにこれから高齢化社会となり、住まいや暮らし、地域での災害、医療と介護の提供など課題改善の仕組みづくりを進めていかなければならない。本市では今年度より東部4町と協力し、東部医師会に本市職員が常駐するなど、仕組み作りを進めていこうとしており、これから訪れる高齢化社会に向けて対応していきたい。
- ・「用瀬アルプス」は国土地理院の調査が実施された。地域おこしに繋がるように進めていってほしい。
- ・「農林業」についてはTTPの大筋合意もあり、守りではなく攻めの対応が必要であり、鳥取の素晴らしい農作物のブランド化や販路開拓を進めていきたい。

#### <河原>

- ・「工業団地」には優良企業に入っただいており、地域にもご協力いただき感謝する。工場も日に日に立ち上がっており、次は人材確保が課題になっている。
- ・「可燃物処理場」については環境アセスメントのお願いから10年間経過したが、地権者集落や国英地区、河原町の皆さんに大変なご尽力いただき、同意をいただき、大変感謝している。これからも地元の皆さんに誠心誠意の説明に努め、できるだけ早く稼働できるようにしたい。
- ・「人口減少」や空き家については企業誘致が歯止めになることを期待している。
- ・「中央公民館」は利用しやすいように整理することが必要であり、しっかり詰めていかなければならない。
- ・「市営住宅」の現在の入居者への配慮は大切だと考えている。
- ・「河原町総合支所の庁舎」については第2庁舎を使い一階に集約するのも選択肢の1つだと考えており、8

- ヶ所の総合支所全体のこれからの総合支所庁舎の耐震対応などの中で、具体的に検討を進めていきたい。
- ・防災行政無線以外の「情報伝達手段」については地域情報、行政情報をできる限り共有できるように手段を議論していきたい。
  - ・「鳥獣被害」の対策としての捕獲奨励金の額や猟期については検討を進めている。また、将来的には解体施設の整備が必要であると考えているが、販売ルートの確保も大切であるため、将来に向けての課題である。

#### <福部>

- ・「福部未来学園」は平成28年度に実施設計をおこない、平成30年度には一体型校舎の整備が終るよう検討を進めていきたい。
- ・「多鯰ヶ池の振興」については商工会議所からも提言がでており、遊歩道等の設備が必要だということもお聞きしている。平成30年には砂丘にビジターセンターが整備される予定である。滞在時間を長くし、周遊性を高めていく仕組みが必要である。今後の砂丘の観光振興、地域の活性化に取り組んでいきたい。
- ・「駒馳山バイパス」の新しいICについては実現できるように国県との協議・調整を進めている。
- ・「塩見川の整備」における内水排除については現在解析をしているところであり、対応を考え、地元にも説明していく。
- ・「少子高齢化」は全国的な課題であるが、本市の資源を活かしながら、総合戦略や総合計画に沿って対策を進めていく。

#### <国府>

- ・「旧国府総合支所」は、市として行政目的で活用する予定はないため、選択肢としては売却があると思う。仮に売却することになれば、公募で進めたいと考えている。
- ・地理的な特性により課題への認識が違うというのは特性でもある。殿ダムの整備も進めており、ジオスポットとしての観光振興もこれからである。

#### ○その他

- (森原国府会長) 振興会議の際に災害時の避難場所について学校を利用できないかとの話があり、委員から何回言っても話が進まないという意見も出たが、協定が進み感謝する。
- (南部福部会長) 今後は2月14日に「むらづくり推進大会」、3月6日には敬老会がある。
- (谷村用瀬会長) 美術館について新聞に色々出ていますが本市の状況は、
- (深澤市長) 元々鳥取市の桂見に決まっており、市道の整備をしたが、当時の片山知事により凍結された。本市は現在に至るまでずっと要望し続けている。県が要件について明示したので、要件に合う候補地のデータを県に提出し、要望している。

## 5. その他 (12:04~12:08)

## 6. 閉会 (12:08)